

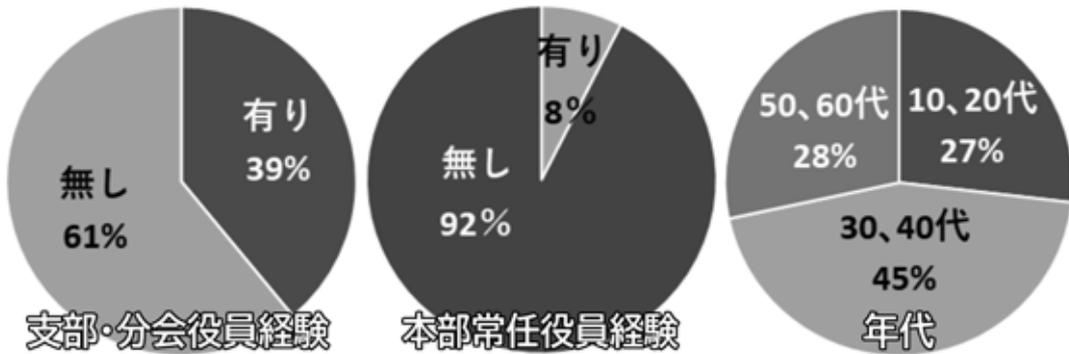
バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

<p>〈これからの予定〉</p> <p>○12月14日(水) 「第17回定期大会」 13:30~17:00 名古屋都市センター</p>	<p>愛知県職連合女性部しんぶん</p> <h1>あゆむ</h1> 	<p>第346号 (2022年11月)</p> <p>発行 県職連合女性部</p> <p>〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 直通 052(951)4036 FAX 052(972)0649 FAXフリーアクセス 0120(930)340</p> <p>http://www.aichikenshoku.gr.jp E-mail josei21@aichikenshoku.gr.jp</p> <p>発行責任者 山崎真弓</p>
---	---	---

# 女性部に関する意識調査

6月15日から7月3日まで、女性部の今後の活動と役割について検討するため、女性組合員から広く率直な意見を集める意識調査を行い、611名から回答をいただきました。いただいた意見を反映し、今後の女性部の方針に活かしていきます。

多くは30〜40代の中堅職員に多く、役員経験者および協力してくれた回答者



## 回答者

参加経験者（159名）の内訳

バスレク	55人
セミナーなど	104人
学習会	74人

参加理由

内容に興味がある	39.3%
誘われた	28%
役員として	25.6%
その他	7.1%

経験者も同じく30代組合員に多い。30代以上の組合員の支部・役員経験は47・9%に上った。

事業への参加

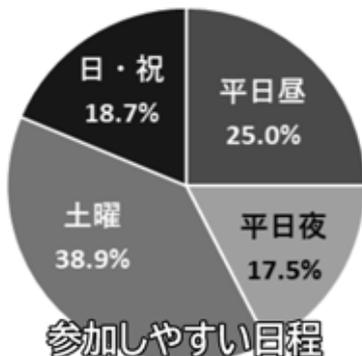
事業に参加したことがあると回答した159名のうち、10代〜20代は3%に留まる。これは、新型コロナウイルス感染症拡大により事業の中止が相次いだことが一因であると考えられる。

また、セミナーなど学習系の事業で興味のあるテーマであれば自発的、または他の組合員に誘われて参加することが多いことが分かる。

事業への参加

事業に参加したことがあると回答した159名のうち、10代〜20代は3%に留まる。これは、新型コロナウイルス感染症拡大により事業の中止が相次いだことが一因であると考えられる。

開催日は全ての年代において土曜日が支持されたが、平日昼との回答も25%あり、日程による不参加を少しでも減らすために、交互に開催するなど、議論していく。



参加しない理由として多く挙げられたのが、「内容に興味がない」「日程が合わない」の他に「知り合いがいない」であり、全ての年代において1人で参加することへの不安が見られた。

今後参加を促すためには、より多くの組合員に興味を持たれるテーマの選定に加え、参加しやすさが重要な課題となる。

参加したい企画

趣味・教養	32.0%
子育て・介護	12.0%
健康	13.0%
著名人の講演	14.0%
日帰り旅行	16.0%
その他	14.0%

参加したい企画内容では、全ての年代で「趣味・教養」が最も支持され、2番目の「日帰り旅行」を大きく上回った。自由記述欄には「家の購入」や「資産運用」などのライフプランに関することやファッション・美容に関する講座を希望する声があった。

オンライン開催の希望もあり、今後組合員の声を反映し、積極的に参加したくなる事業を企画していく。

## 女性の要求

女性の要求等の女性部の取り組みについては、組合員の約70%が重要であると考えている一方、

取り組み内容についてよく分からないという回答が24%であった。また、取り組みを不要とする意見も5%見られ、女性の地位向上や権利拡大の為には女性自身による活動が不可欠であることの理解をよりいっそう広める努力が必要である。

その他には、子育てなど女性だけの問題ではなく、男女の差なく問題に取り組む必要がある等の意見があった。時代の移り変わりと共に女性部の活動のあり方も議論を重ねる必要がある。

## 支部女性部の活動

支部女性部の活動について、内容を問わず参加経験があるのは全体の48%であった。対して不参加、または支部の活動内容を知らないという回答が43%に上った。また、新型コロナウイルス

参加したことがある企画

バスレク	6%
セミナー・学習会	15%
定期大会	15%
会議	12%
参加経験なし	27%
支部での活動なし	16%
その他	9%

ルスの感染拡大により各支部での活動を縮小しており、新入組合員では加入してから一度も活動が行われていない、という意見があった。

支部での活動をしていること自体を知らなかったという回答もあり、女性部としての活動の周知が課題となる。

支部のレクリエーション（バスレク、セミナー等）についてどう思うかという質問に対しては過半数の55%が不要と回答している。また、続けて欲しい等の意見の中にも役員の負担が増えるのならば廃止すべきという意見が複数あり、女性部の

## 女性部役員

活動が組合員の負担にならないよう見直す必要がある。

女性部役員について、

出来るなら引き受けたくないと考えている組合員は約79%であり、女性部役員は負担だとの認識が根強いことが分かる。引き受けたくない理由として多忙の他に役員としての仕事内容が分からず不安であるというものが多くあった。

女性部役員の仕事内容が不透明であるという指摘は以前からあり、女性部としての活動を継続し

業務が多忙	31.5%
家庭の都合	18.0%
年休を使いたくない	17.3%
仕事内容が不明	16.6%
以前大変だった	4.1%
その他	12.5%

## 女性部について

ていくためにも、役員の引継ぎ方法を含め仕事内容や年間計画などを示し理解を深めてもらう必要性がある。

女性部の存在について

必要な存在	20.5%
どちらかという必要	43.2%
どちらかという必要ない	15.5%
廃止した方がよい	3.4%
よくわからない	14.7%
その他	2.7%

女性部のあり方についての項目では、女性部が存続した方が良いと回答したのは全体の約64%であり、不要と回答した約19%を大きく引き離れた。女性部の存在の重要性を多くの組合員が認識している一方で、役員や事業などが負担として大きくなっている。

女性ならではの問題を  
取り上げる場が必要との  
意見が多い中、廃止した  
方がよいとする意見の中  
には、育児・介護など女  
性のみでなく全体で考え  
るべきという意見や、活  
動について周囲の理解を  
得られないという意見が  
あった。

## 女性部長所感

今回の調査では専用フォ  
ムを活用したことで忌憚  
ない意見を集められた。

女性でなければ気が付  
かない要求がある一方、  
女性だけの問題ではない  
こと、女性だけでは解決  
しないことが多くなって  
おり、本部や支部と連携  
し、確実に女性組合員の  
声が届くような方法を検  
討していきたい。

本来、真の男女平等が  
確立され、女性だけの問  
題も確実に検討できる環

境であれば、女性部とい  
う存在は必要無い。組合  
としては、そのような状  
況を目標とすべきだが、  
現段階で直ちにその検討  
に入るのは時期尚早と考  
える。しかし、組合員数  
が減少傾向にある中、女  
性組合員だけに二重に役  
員の負担があることは問  
題であり、女性部の存在  
を不要または負担と感じ  
る理由の一つである。本  
来業務と組合活動の両立  
の負担感が組合の脱退理  
由となるのではないよう  
な見直しを行うとともに、  
役員数の活動について、人  
数も含めて検討していく  
必要がある。

今回の調査から活動の  
見直しを行い、その結果  
を確認しつつ、今後も女  
性組合員の意見を聞きな  
がら、女性部のあり方に  
ついて検討を続けていき  
たい。

女性部では、10月14日（水）に「2022  
女性の要求」等について人事課との意見  
交換会を実施しました。

意見交換の内容は、事前質問では欠員  
補充の課題やメンタルを原因とする休務  
者の増加対策など、人員関係を中心に質  
問・意見しました。当日の意見交換では、  
権利関係を中心に、生理休暇・結婚休暇・  
時差勤務・子育て部分休業・不妊治療な  
ど多岐にわたり、女性組合員の切実な思  
いを伝え、有意義な時間となりました。

### ☆質疑応答☆

◇女性部 ◆人事課

◇社会福祉、心理、土木の欠員が増加し  
ているのはなぜか。

◆社会福祉、心理に関しては児相の体制  
強化と人員増を目指しているが、採用が  
追いついていないためである。土木に関  
しては応募自体が少なく、局側でも大学  
を訪問し採用活動をするなど努力してい  
る。

◇育休代替の過員配置について、事務職  
については不足はないのか。

◆育休の代替臨時的任用職員は随時補充  
しており、事務職については埋まっている。

◇生理休暇は1日単位のため、午後に取  
得した場合は午前会議に出席したり出張  
に行っても1日休んだことになり勤務記  
録に矛盾が生じる。人事課はそれに対  
してどのように考えているのか。

◆生理休暇が特別休暇の1つである以上、  
夏休みと同じく1日単位となる。矛盾に  
ついては承知しているが、ご理解いた  
だきたい。

◇出生サポート休暇について、診断書以  
外での申請はできるか。

◆診断書のほか、領収書や治療計画書  
など、医師が作成した書類であれば可能  
である。休暇制度について周知していく。

## 人事課との意見交換会





# しんじゆん軽トラ市

を迎え、約50の店が出店しました。岩手県雫石町宮崎県川南町と並んで日本三大軽トラ市と言われているそうです。会場の新城中央通り商店街は、商店が年々減少し盛況とは言えませんが、この日はやはり老若男女が集まりにぎやかです。

物と人が集まる市（マルシェ）ってワクワクしませんか。私も大好きです。コロナ禍でこのようなイベントは休止されていましたが、最近復活しつつあります。



先日、奥三河の玄関口新城市で開催の、軽トラ市に久しぶりに行きました。まちなかの道路に商品を載せた軽トラックが集まり、地元や近隣地域の特産物や軽食、雑貨などを販売するマルシェです。平成22年に始まり令和4年10月で132回目



私が購入したのは、スイーツ、地場野菜、漬物など。特産物なら、五平餅、茶葉、猪肉を使った調理品もおすすめです。海産物は地元民に人気ですよ。その他木工品や布小物を見たり、ミュージシャンの路上ライブを聴いたりしてそぞろ歩き

を楽しめました。旧国道を車両通行止めにした会場なので、レトロな街並みの中、人が多くてもものどかな雰囲気か漂っています。一方で、会場に通じる全ての道にスタッフが座り、来場者に手指消毒を徹底させているのが印象的でした。毎月第4日曜日の午前中に定期開催していますので、奥三河へのドライブのついでに立ち寄ってはいかがでしょう。JR飯田線新城駅から歩いても行けますよ。

# リゾートホテルでリゾートホテル



柴崎 ちか子

(新城設置福祉相談センター)

組合員のみなさんは、保養所施設（リゾートトラスト）に宿泊できることを知っていますか？リゾートトラストは、高級リゾートホテル「エクシブ」などを全国23か所に展開しています。



「エクシブ」は利用料が高いイメージがありますが、1人いくらかではなく1室あたりで値段設定されているので、複数人で利用すれば素泊まりの場合1人1万円以下で泊まれます。（食事は高めですが、朝食はとても美味しいので私は毎回朝食だけ付けています。朝食の写真を今回載せてみました。）

用したところとある施設は、エクシブ箱根離宮、グランドエクシブ浜名湖、エクシブ琵琶湖、エクシブ鳥羽別邸です。その中でも私のおすすめは“鳥羽別邸”です。お風呂は目の前に海が広がり絶景ですし、天然温泉でお肌ツルツルになります。また、開業して約6年ということもあり施設も綺麗で、お部屋も和モダンな空間で非日常を満喫できます。鳥羽水族館や伊勢神宮の観光もできますので、興味のある方はぜひ利用してみてください。

全国旅行支援等を利用できる機会に、エクシブを利用してみてはいかがでしょうか。

(東三河県税事務所 藤田 翔子)